

かんちゃん通信

令和元年 5月22日(水)発行 文責：林 寛

～芋さし～

サツマイモの苗を植えることを「芋さし」と言いますが、本年度の年長さんによる芋さしを17日(金)に実施しました。毎年、うめ組の裏の畑でサツマイモを育て、秋に収穫して食べています。

本今年の芋さしは、例年と比べて大きく2点、違いがありました。

1つ目は、時期を早めたということです。例年だと6月に行われる星パパの会のお父さんたちによる畑の畝づくり後に芋差しを行っていましたが、それだと時期が遅いため、約1ヶ月植える時期を早めました。

附属小学校に小型の耕運機があるので、それをお借りして畑を耕すと、畑がふかふかになりました。また、現在実習に来ている年長の実習生さんが担任と協力して畝づくりをしました。準備は完璧でした。

2点目は、教育学部の鎌田栄一郎先生に来園していただき、子どもたちに直接植え方を伝授していただきました。鎌田先生は、栽培に大変詳しい先生ということをお聞きしたので、私が電話をすると、来園を快諾していただき、学生さん2名を連れて金曜日に参加されました。

鎌田先生は、芋に関する本や芋のイラストなどをご自分で用意され、子どもたちの興味を引く工夫をされていました。子どもたちも真剣に鎌田先生の話聞いており、その後の活動がスムーズにいきました。

子どもたちは、鎌田先生のお話が終わると担任の先生と一緒に2つのグループに分かれ一人2本の芋のツルを畑に植えていきました。

秋になるとどんな芋が育っているのでしょうか。とても楽しみです。芋差しが終わると2人の年長さん(男女)が、早速、じょうろを持って畑に再度やってきて、植えたばかりの芋苗に水をあげていました。子どもたちも芋の生長を楽しみにしています。

本園は大学の附属幼稚園という特色を生かし、これからも大学の先生の専門分野をどんどん保育に生かしていきたいと考えています。

